



「人として生きていくための勇気と自信を培うサポート活動」

「40歳くらいまでのひきこもり経験者・不登校・学校中退・対人不安・心理面サポートを必要とされる方への居場所提供・フリースクール活動・個別指導学習サポート・家庭教師・家庭訪問・カウンセリング面談・各種相談活動」

「喫煙所はどこですか問題」について

2月から3月にかけて、ウィルス感染に関する情報が日々更新されている。これらの情報が不必要とは思えないし、知らせるべき情報だと思うのだが、なぜ新たな罹患者が出たという情報ばかりが優先的に伝達される必要があるのかという疑問も感じる。

重傷者がどの地域で何人居るとか、亡くなられた方が何歳で、元々の健康状態はどうだったのかという情報を優先的に知らせることで、受け取る側の私らに、何を知らせたいのだろうかと考え込んでしまう。ウィルス感染が陽性と分かった方々が、何名亡くなられて、その方が高齢だったということ、持病があったということがワンセットになって報道されるのが、定番（ニュースの決まり文句）のように思えるのだが、そういう知らせ方で、何を伝えようとしているのだろう。

「あなたも、高齢で持病があれば、罹患したことが分かったと同時に、死ぬことも覚悟しなくてはなりませんよ」と知らせようとしているのだろうか。こういう状況に居る多くの人は、そういう情報を優先的に知りたいと思っているということなのだろうか。ニュースを聞くたびに、何だか、何年か前に流行った「靈感商法のやり口」を思い出してしまうようになってきた。

不安を煽って、判断力を鈍らせ、混乱した状態につけ込んで、不必要な物を購入させたりするという「やり口」と、何か似たような物を感じるのだが、ニュースでは「病気になるための壺」を高額で購入する

ように誘導したりしていないので、「靈感商法」では無いと思うのだが、ニュースを聞けば聞くほど「靈感商法のやり口」と同じような気配を感じてしまう。

改めて自分が欲しいと思っている情報は何なのかを、自身で振り返ってみると、(少なくとも、今の私が)欲しい情報は、ウィルス感染で陽性判定となった人たちは、何日くらい、どの程度の発熱をした後に陽性と判定されるに至ったのかという、罹患から陽性判定までの経過のようすについての情報が欲しい。さらに、陽性判定が出てから、発熱は何日くらいが何日続き、その後、熱が下がって、寛解状態になるまで何日くらい要したのか、その間は布団に入って横になって過ごしたのか、自宅に籠っては居たが、起きて日常活動をして過ごしていたのか……そういった情報が知りたいのだが、そういったニュースを伝えてくれる番組には、現状、出会っていない。

手洗いなどが重要とか、マスクなどで周囲への拡散を防ぎましょうという情報は頻繁に紹介されているが、体調不良を感じてから、どのような経過が生じ、ピーク状態が何日目、どのくらい続いて、回復の兆しが見えるのは何日目、元の日常生活と変わらず活動できるようになるのは、何日目くらいからなのか……陽性判定を受けた人の人数が、それなりに多くなっている現状なら、そういう情報が提供できるはずなのに、それらを知らせないまま、重症化して亡くなった方の人数が何人

になったのかばかりを知らせるとするのは、何を意図しているのか真意を測りかねるので、「靈感商法のやり口」感を強く感じてしまうのだと思っている。

この問題を私は「喫煙所はどこですか問題」と呼ぶことにしている。

ずっと以前、ほとんどの場所で喫煙できていた時代に、特殊な事情で「禁煙」しなくてはならない場所に「禁煙の掲示」がされていたのだが、非喫煙者の健康に配慮することが通常の状態になり始めてからも「禁煙の掲示」しか示されていないままになっている。

現状では「禁煙の掲示」は「全く意味をなさない情報」になってしまっているのに、昔の伝統を引き継ぐように「禁煙の掲示」が続いている。

現代において、「禁煙の掲示」には「何の意味も無い」のだが、疑問に感じて修正を加えようという動きは見られず、伝統文化の継承という感じで提示されつつけている。

「非喫煙者」にとっては、その場所が「禁

煙」だと知らされても、その情報に大した意味を感じられないし、それを知ったからと言って、選択する行動が変わることは無い。

「喫煙者」にとっては「喫煙所が、どこにあるか」という情報が重要であり、「吸えない場所」を知ることには意味が無い。

現状で必要なのは「禁煙の掲示」ではなく、「喫煙場所がどこにあるか」を知らせる情報が必要な情報なのだ。

「喫煙場所がどこなのか」という情報は、喫煙者に必要なだけでなく、非喫煙者にとっては、その付近に近づかないとか、迂回路を探すということで、意味のある情報なのだ。

「喫煙所はどこですか問題」に改善の兆しが見えない現状から推測すると、この先も、新たな陽性判定者が見つかったというニュースや、持病のある高齢者が何名亡くなられたかというニュースの報道ばかりが続くのだろうと推測される……本当に知りたい情報は、いつごろ、どのような方法で伝えられるようになるのだろうか……。

(高石 公資)

イベント紹介・報告

☆2019年12月29日
大清掃

1年の締めくくりとして恒例の大掃除をしました。みんな頑張って掃除してくれました。



☆2019年12月29日
忘年会

大掃除をしてすっきりした後はみんなでわいわいお鍋を囲んでの忘年会でした。今回はLPWさんから4人もご参加いただき、ありがとうございました。



☆2020年1月5日

初詣

今年の初もうでは上賀茂神社に行きました。
よい1年になりますように・・・

☆2020年1月10日・2月14日

パレット河原町清掃活動参加日

今年度後半は参加者がいてくれていてよかったです。社会活動はずっと継続していきたいと思います。

☆2020年1月11日

十日戎

これも毎年恒例の京都ゑびす神社へ参拝しました。出店がたくさんあって何を食べようか迷います。



☆2020年1月17日・2月21日

ものづくりかふえ

1月・2月ともにビーズでいろいろ作ってみました。3月14日に宇治でワークショップ出店予定だったのですが新型コロナの影響で中止となりました。



☆2020年1月18日

出かけよう LPW 文化祭

昨年に続き LPW さんのイベントに参加させていただきました。

☆2020年1月19日

出かけよう 一条寺散策

一条寺の散策では詩仙堂の方に行ってきました。それからやはり一条寺はラーメンということでラーメンも食べてきました。

☆2020年1月21日・2月18日

ブレイン体操教室

スタッフ前田の指導の下で、ちょっとした運動とストレッチと、ヒーリングを行っています。



☆2020年1月24日

学食 walk 特別編 京都府庁

参加者がいなく、実施できずでした。

☆2020年2月1日

豆まき・恵方巻

今年の恵方である西南西に向かってみんなで巻き寿司を黙々と食べ、豆まきで鬼担当事業所長に向かってみんな「鬼は一そとー」と撒く・・・というよりぶつける、でした。「福はーうちー」も皆さん時々言ってくださいいな。



☆2020年2月2日

節分祭吉田神社

縁日関連は毎度思いますがにぎやかで楽しい気分になります。

1年の無事を祈ってきました。



☆2020年2月11日

出かけよう 京都タワー

意外と今回初めての京都タワーへの出かけよう、でした。こういう機会がないとなかなか行かないものだなとか個人的には思いました。京都の街並みが360度晴天の中見れました。一応阿倍野ハルカスと大阪城・・・っぽいのが見えました。(見えるそうですよ)



☆2020年2月29日

岡崎フリマ

新型コロナの影響で延期になりました。

☆日曜居場所

1月5日・12日・2月23日実施。
京都府ひきこもり社会参加支援事業対象者は無料で利用できます。

この事業対象者は月曜日と木曜日に居場所利用が無料で可能となっています。

可否はともかく2020年度も申請予定です。

☆レク日

1月10日・11日・25日・
2月1日・14日・18日実施。

フェイスブックページ

<https://ja-jp.facebook.com/ksce.apollo>

Twitter ID「ksceleader」

ブログ http://ksce.jpn.org/?page_id=1234

KSCE 全般もしくは通信に関するお問い合わせ・ご意見は、下記までお願いします。

E-mail の場合 soudan@ksce.jpn.org、TEL/FAX の場合 075-211-0750、郵便は〒604-8005 京都府京都市中京区三条河原町東入ル恵比須町 439 早川ビル 6F 京都教育サポートセンター KSCE 通信係 まで。

2020年3月9日発行 特定非営利活動法人 京都教育サポートセンター